みなりハ

医療法人芙蓉会 南草津病院 地域リハビリテーション情報誌 第38号 発行月 2021年7月

今年も厳しい夏がやってきました!

今年の夏も全国的に気温が高く7月下旬は猛暑の可能性があるそうです。皆様、今年も 夏バテや熱中症に気を付けてくださいね。

新型コロナウイルスも未だ予断を許さない状況が続いています。コロナウイルスの予防 接種を終えていても感染する可能性は無くなりませんので、引き続き感染防止対策も実践 していきましょう。

地域リハビリテーション課の新メンバーを紹介します!

今年度も4月から地域リハビリテーション課のメンバーが変更されました。地域リハビリテーション課の課長であった段上PTが院内へ異動になり、以前訪問リハビリをしていたPT宮城が新しく課長になりました。その他にも3名が地域リハビリテーション課に配属されました。



宮城雅徳

2年振りに南草津病院に 戻ってまいりました宮城 と申します。ご存知の方 も初めての方もどうぞよ ろしくお願いいたします。 今年度から異動になりました谷川です。回復期病棟での経験を生かしながら介護保険分野でも頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします!



谷川舞香



森口収規

出向が終わり2年ぶりに病院に戻ってきました。皆さまの力になれるよう頑張って行きます。よろしくお願い致します。

回復期病棟から地域リハビリ課に配属となりました古坂です。利用者さんの生活のお役に立てるように頑張っていきますのでよろしくお願いします。



古坂哲也

脱水症を予防する水分の摂り方 7~8回以上、コップ1杯分の水分を 持取することを心がけましょう。起床 行きングを決めておき、定期的に水分 を立ゼリーや水ようかん、フルーツな がで水分補給することが大切です。水分を 長る がで水分補給するなど、水分の摂り方 を工夫してみるのもよいでしょう。起床 がで水分補給するなど、水分の摂り方 を工夫してみるのもよいでしょう。 とで水分補給するなど、水分の摂り方 起こします。

一般の機能を維持するために不可欠な体液が不足している状態のことをいいますが、大量に汗をかいたり、くらいのときは体液のバランスは保たくらいのときは体液のバランスは保たれていますが、大量に汗をかいたり、いっとをいいます。汗や尿などによっかに出ていく水分が増加すると体液の下痢や嘔吐などの体調不良によっながに出ていく水分が増加するとは、体の機能を維持するために不可欠な体液が不足している状態がに出ている状態が不足します。

脱水症予防



地域リハビリテーション課より関係者各位へお知らせ

3回目となる Z O O M を用いたケアマネ ジャー様との合同勉強会を開催致しました。

2021.6.22 (Tue) 17:30~18:00



今回は<mark>総勢27名</mark>のケアマネジャー様にご参加 頂きました。次回は<mark>10月を予定</mark>しております。

し頂増内はし 紹そくくえに ま新ょ続の新 介れおこま異長し年うき夏型 たで願とし動年た度かまをコ さはいがたし当。が。す迎口 さはいがたし当 **``**致增 課地始 がえナ せ て個しえ今入を域ま ま感 頂性まる後れ牽リっ き豊すと、替引ハて 替引ハて 存皆わしビ まか が い す。なっ かう蔓 じ様りてりは がだ延 ス タッフ おるす 過ごしてる中、一 達 で暑 の É 宜てが院で過

みなりハビリテーション情報誌

2021年7月

第38号

地域リハビリテーション課 新メンバーの自己紹介

宮城 雅徳(みやぎ まさのり)

職種:理学療法士(PT) 担当:訪問・通所リハビリ 趣味:スポーツ観戦

特技:競馬予想

ひと言:2年振りに南草津病院に戻って参りました。どうぞよろしくお願い致します。

森口 収規(もりぐち あつき)

職種:理学療法士(PT) 担当:訪問・外来リハビリ 趣味:キャンプ(これから) 特技:スポーツ(特に野球)

特技:スホーツ (特に野球) ひと言:出向が終わり2年ぶりに病院に戻ってきました。皆さまの力になれるよう頑張って行きます。よろしくお願い致します。

谷川 舞香(たにかわ まいか)

職種:理学療法士(PT) 担当:訪問・外来リハビリ 趣味:ライブに行くこと

特技:料理すること

ひと言:回復期病棟での経験を生かしながら介護保険分野でも頑張っていきたいです。

古坂 哲也(ふるさか てつや)

職種:作業療法士(OT) 担当:訪問・外来リハビリ 趣味:写真・裸足ランニング

特技:パソコン関連

ひと言:回復期病棟から地域リハビリ課に配属となりました。利用者様の生活のお役に立

てるように頑張っていきます。

通所リハビリテーションからのお知らせ

本年4月の介護報酬改定で【科学的介護情報システム(LIFE)】の 本格運用が始まりました。当院の通所リハビリテーションにおきましても、7月分より ①科学的介護推進体制加算<u>と</u>②口腔・栄養スクリーニング加算</u>を算定させて頂くこと

になりました。6月中より利用者様・ご家族様にご説明の上、厚生労働省へ提出するデータの測定/聞き取り

(身長・体重、誤嚥の有無など)をさせて頂いています。 詳細は6月中に送付致しました、周知案内文をご参照下さい。 ご質問等は通所リハビリテーション管理者/小林まで お気軽にお問い合わせください。





みなリハ通信

「年齢なんて関係ない。 100歳を超えても頑張る気持ちで!!」

今回は、外来リハビリから訪問リハビリへ移行された、98歳のAさんをご紹介させていただきます。訪問リハビリでのご家族の希望は『トイレまで少しでも歩くことができれば。トイレでもしっかり立ってもらうことができれば』でした。介入時はトイレまでは車椅子で行き、トイレでは娘さん夫婦が二人で介助を行っていました。 まずはトイレ内での環境調整を行うために手すりを設置し、両手支持で立位訓練ができるようになったことで10秒~15秒の保持が可能となりました。トイレまでの歩行は歩行器を使用し訪問リハビリ時に訓練をしました。 Aさんが利用されているデイサービスの職員の方も「歩行の介助方法を知りたい」と積極的に介入してくださり、訪問リハビリ中に指導をさせていただくことで、デイサービス利用中にも歩行訓練を実施することができました。 また、ご家族へも歩行介助の指導を行い、訪問リハビリの無い日でも歩行時間を確保することができ、日中もトイレまで一人介助で行くことができるようになりました。

「もう年やから無理」とあきらめている方も多いと思いますが、ご本人の意欲と周りのサポートがあることで年齢に関係なく、したいことがことができるということを知ってもらえたらと思います。 そのために私たちリハビリスタッフも一緒に考え、お手伝いをさせていただきますのでお気軽にご相談ください。





【"くらしと生きがいを再建!" あなたに寄り添うリハビリチーム】

医療法人芙蓉会 南草津病院 地域リハビリテーション課

〒525-0059 滋賀県草津市野路五丁目2番39号

TEL: 077-562-2239 FAX: 077-562-2253

